

## 活動が自分のものとなる

活動先：NPO 法人 菜の花の家～成岩

クラス：原田 正樹 先生

### 1. サービスラーニングを通しての成長と気づき

サービスラーニングを通して成長したことは二つあり、まず一つ目は知識としての成長である。NPO 法人というものの根本的な意味を知らないところから始まり、講演やバスツアー、事前学習、事前訪問、活動を行うことにより NPO 法人と社会福祉法人との違いや私たちの生活や地域とても密接していることを学んだ。そして私が知らなかったことと同様に、地域やたくさんの人に「NPO 法人」という言葉は知られていても、実際にどのような事を活動しているのか知られていないこともわかった。リフレクションシートもはじめは毎回書くことが大変で書き方も何を書けば良いかわからなかったが、徐々にその日の学習を書くことができるようになり、書くことによりもう一度その日の学習をふりかえることができることがわかった。そして最も大切な事は先生も言っていた読み返すことだと気付いた。その時の感情や学んだことは忘れてしまうため、読み返すことによりその時の気持ち呼び起こされたり、学んだことをまた考えてさらに深い学びに繋がった。

二つ目は心や考え方の成長である。バスツアーや活動、その後に深めたいことについてはじめは1人で考えてそれをグループや活動のメンバーと話し合ったり意見の交換をすることで、自分の思いつかなかったみんなの思いを聞いてその考え方が自分のものとして吸収することができた。なにかを成し遂げるためにはまず事前に学習や体験する前の情報収集をすることで活動をするときに、受け身にならない活動になることもわかった。そして活動中も報告書を書くことがとても大変だったが、それを行うことで次の日の活動へ活かせる反省や発展に繋がる。活動後の学習が一番成長させられたと思うサービスラーニングをする前の私はボランティアや話を聞きに行った後、学んだ気になったり達成感だけが残って、良い経験になったという気持ちだけで終わっていたが、サービスラーニングをしたことにより、活動後に全てを通してまた反省点や、さらに活動先について知りたくなったり、その後の学びが一番大切でこれからの提案までたどり着くまではとても時間がかかったが、そこが最終地点ではなくまだまだ続くこともわかった。サービスラーニングを経験した先輩方から話を聞くと活動前と活動後は勉強への気持ちや NPO 法人への理解、考え方が変わると聞いており、変われるか不安な気持ちで活動したが、学びを深めることができるようにプログラムがしっかり構成されていた。構成されたプログラムをただやることははじめの段階で、自分で構成して成長した、学びが深まったと実感できる経験ができるようになった時が本当の成長ではないかと思った。

NPO 法人という根本的なことを知るだけでなく、学び方、成長の仕方、記録をとるといった大切さに気づけたのもサービスラーニングをしたからだ。確実に夏の活動もこの一年全て、そして毎日の生活をサービスラーニングの活動のように振り返りをしていけば、実習や日常生活、将来の職にも繋がり、どのようなことにも活かせることに気付くことができた。

## 2. 活動先の地域活動や社会的課題

「菜の花の家～成岩」は地域の人との交流をはかるために外のテラスに交流スペースを設けたり、室内でイベントを開催したことがあるが、立ち寄ってくれる人はいなくて、イベントにも参加してくれる人は少なかった。室内はせまいこともありたくさんの人数を呼ぶことができないことにも問題があった。しかし解決策はまだ考えられていないのである。交流スペースに立ち寄ってもらえないことも、菜の花の家でどんなことをしているのか、またどんな施設なのか、認知症の方への理解や知識の少なさによる原因と考えられる。経済的にも最近やっと安定してきたこともあり、地域への交流へまだ手が回らないということもおっしゃっていた。安定してきたからこそこれからの課題である。

菜の花の家で活動して感じたことは高齢者の方が地域の人と関わることでどうなるか考えてみると地域の方と高齢者の方が交流を図るのではなく、スタッフの方と地域の方が交流やコミュニケーションを図ることが大切だと感じた。スタッフの方が交流を深めることにより、成岩での運営がしやすくなったり、近くで1人暮らしをしている利用者の方への助けをしてくれるようになるのではないかと思う。そこでどのようにしたらスタッフの方と地域の方がうまく交流を図れるのかを考えてみた。地域で行われている町内会にも積極的に参加してみて菜の花の家をまずは知ってもらおう。例えば廃品回収やお祭りを手伝うことで交流の場となりスタッフの方と地域の方のつながりができる。菜の花の家での仕事もあり、日常生活もあるが気分転換や趣味のひとつのような気持ちで取り組んでみてはどうかと考える。

NPO 法人全体の社会課題について考えてみた。財源がとても少なく、大きな活動をしたくてもできないことで、近隣の方から知ってもらえない。よりよいサービスができないこともあるため、NPO 法人同士の絆を深めて支え合い、小さいものでは達成できなくても集まって大きくなることで達成できるようになることもある。こんなにたくさんのNPO 法人の集まる知多半島だけでも集まって大きなお祭りや啓発運動をすることも大きな躍進になる。社会福祉法人とは違った少ない財源でも志が強く活動方針がしっかりしている、それぞれのNPO 法人に個性のあることを知ってさらに知りたいと私自身が感じたことと同様に、地域の方でも興味を持つ方は増えると思う。

## 3. 終わりに

菜の花の家～成岩でサービスラーニングとして活動でき、スタッフの方々が支えてくださり、分からないことも聞きやすい雰囲気を作り出してしてくれたことでこれだけ学ぶことができた。菜の花で活動ができて本当に良かった。菜の花での経験を生かし実習から将来まで繋げていきたい。